

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和2年11月18日(水)
午後1時13分から午後2時8分まで
- 3 場所 第1委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 関戸郁文 (副委員長) 谷平敬子
(委員) 片岡健一郎、水野忠三、宮川隆、堀 巖、榊谷規子
- 5 欠席委員 なし
- 6 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項

(1) 令和2年度政策提言について

関戸委員長：片岡委員が自転車駐車を調査してきたので、報告をよろしく。

片岡委員：11月13日と16日に、岩倉駅周辺の6か所の自転車駐車を確認して写真を撮ってきた。駅に近いほど混雑している。跨線橋の下は両日ともかなり余裕がある。跨線橋下の西側には、自転車駐車場内に長期間放置されている自転車を保管するスペースがある。自転車駐車場内の放置自転車は、3～4か月に1回、調査をして札をつけ、数日経っても放置されていたら移動させているようだ。ざっと見たところ、30台から40台程度のように感じた。想像していたよりも自転車駐車場内の放置自転車は少なそうということ。執行機関が言っていたとおり、岩倉駅から離れれば、駐車スペースには余裕がある。

関戸委員長：モラルの問題で、駅近くには無理やり押し込んででも停めるし、遠い所は空いている。何かインセンティブをつけて分散させるとか、スタンドを置いて停められる台数を制限するとか。ただ、スタンドを置いたとしても、停めてある自転車をどかしてでも停める人は出てくるのかなと思う。自転車駐車場内の放置自転車がそんなに多くなさそうなので、それなら条例改正までは必要ないという印象。

片岡委員：ただし、条例上は3日以上停めてはいけないはずなのに、駐車場内の放置自転車のチェックは3～4か月に1回しか出来ていないようだ。

関戸委員長：今日、結論が見いだせばいいが、そうでない場合は1、2月に持ち越そうと思っている。

宮川委員：本来の目的である駐車をより快適に利用できるようにするという面では、駅近くの自転車置き場の密集状態を解決するには、人力で行うしかないの、撤去費用の自己負担額を上げてより多くの人を雇えるようにする、という提案もいいと思う。もう一つは、条例を現状に沿って改正するという提案。

関戸委員長：条例に関することと、施策に関することとで提案を2本立てにすると

いうことである。

堀委員：シルバー人材センターの人員を増やす前に、現在働いている人の意見を聞くべき。仮に人員を増やしたとしても、朝で急いでいる人たちが、言うことを聞いてくれないかもしれない。それとも、今でも溢れた自転車を空いているところに移動させているのかどうなのか。

宮川委員：1日2時間の中でやるには無理があるし、どんどん自転車がやってくる中で指導するのは無理だ。結果、ラッシュが落ち着いてから、順番にずらしていくという作業が発生している。なお、来年度予算に影響があるものは早めに提案しないとイケない。名古屋市の3,500円はインパクトがあったので、やるなら今だと思う。

関戸委員長：撤去費用を3,500円に改正する提案は、予算編成のスケジュール上、早い方がいいと思う。

宮川委員：3,500円と提示する必要はなく、金額を上げるという提案であって、いくらが妥当かは順に考えていけばいい。提案するなら今がいいということ。

水野委員：いくらが妥当な金額かは担当課の意見を聞きながら考える必要がある。また、条例改正は、本当にその必要があるのかどうか、よく考えた方がいい。拙速に行う必要はない。

榊谷委員：条例第12条と13条で、明確な違いを設けた理由を当局に聞きたい。片岡委員の撮ってきた写真を見ると、想像していたよりも綺麗に整頓されているようだ。なお、価格については、こちらから具体的な金額を提示するのではなく、値上げを提案するだけでもいいと思う。

堀委員：無料ではあるが、登録制にするのはどうか。名前を登録することで、モラルは上がると思う。そして各駐車場のキャパシティを何台までと決めて、その台数を超えたら移動させることができるようにしてはどうか。

関戸委員：登録したら、所定の場所に停めるのか。

堀委員：どこに停めてもいい。

谷平副委員長：遠いところには、屋根付きの少しいい駐車スペースにしたら、少し早く行っても綺麗なところに停めようというインセンティブが働かないか。

関戸委員：用水路の上で、構造物を建てられない場所ばかり。条例については、時間を掛けてやりたいので、1～2月に時間を取って検討したい。費用の値上げは、政策提言か、代表質問か一般質問か、どのように提案すればいいか。

片岡委員：現地を見て一番問題だと思ったのは、密集しすぎていること。値上げしたからといって、整理されるわけではない。堀委員の提案した登録制度や、あるいはサイクルスタンドを設置しないと、変わらないと思う。駐車場内の放置自転車と、駅近くの駐車場に自転車があふれかえることとは別の問題だ。

宮川委員：一般質問ではなく、委員会代表質問もしくは政策提言としたい。重みが違うので、委員会の総意で行うほうがいい。

関戸委員長：委員会代表質問で行うべきかなと思った。片岡委員、どうか。一般質問と合わせてやれるか。

（音声欠落）

堀委員：委員会代表質問を行った議員は一般質問をできないというふうにしなかったか。一般質問を削るほどの分量でもない。政策提言のほうがいいのでは。

（音声欠落）

宮川委員：そもそも議長からの諮問に対する委員会としての答申なので、文書で返すのが筋なので、政策提言が本来は望ましい。

関戸委員長：料金を値上げすること、サイクルスタンドを設置すること、利用者登録制にすること、それら全部になるかはわからないが政策提言として12月中に提出するということでもいいか。

宮川委員：政策提言の文言は、本委員会で決定する必要がある。

関戸委員長：文案を作る。

堀委員：料金の値上げは記載することで、決定でもいいか。

関戸委員長：今日、提案のあった内容はひとまず全て箇条書きにする。12月中に協議会をまた開催する。

片岡委員：他にも思いついたら委員長に報告することで良いか。

関戸委員長：構わない。

梶谷委員：自転車駐車場内の放置自転車の保管だが、跨線橋下で保管しているのか。

片岡委員：駐車場内の放置自転車は他の場所に移動させることができない。稲荷町の保管場所に保管されているのは、禁止区域に放置されていた自転車。

堀委員：放置禁止区域外の自転車の撤去は、区域内の撤去方法を準用できるのでは。

関戸委員長：保管場所のキャパシティの問題で、跨線橋下にスペースがあるのでそちらに置いていると言っていなかったか。

片岡委員：そんなに邪魔をしているわけではなかった。

（２）その他

関戸委員長：商工会から、本委員会との意見交換会を1月に実施したいと申入れがあったが、実施してよろしいか。

（異議なし）

関戸委員長：理事会の後ではなく、改めて日程を設けて実施したいとのこと。何かテーマを設定して実施したい。

片岡委員：商工会とは事前にテーマ設定の打合わせは予定しているか。

関戸委員長：決めていないが、したほうが良さそうだ。

片岡委員：議会基本条例推進協議会の会長は承知しているか。

関戸委員長：次回の議会基本条例推進協議会で報告する。

（音声欠落）

梶谷委員：コロナ禍で各事業者がどんな状況におかれているかについて、懇談出来たらいいのでは。

水野委員：日程について、1月は市長選挙も行われる。市長選に何らかの影響が出るような時期に実施するのはいかなものか。

関戸委員長：1月24日以降に設定する。

水野委員：こちらから最初にプレゼンテーションを行ってはどうか。

9 その他

特になし